

FAMILY CARE HISTORY



家族が要介護になった時「困った」こと

- 1、 何度も同じ言葉を繰り返す
- 2、 トイレ問題

ゆたかなビレッジご利用されています「ゆたかなビレッジファミリー」の方々へ、介護と共に歩んだ歴史、葛藤を、ある家族を通して参考になる情報をお届けしたいと考えています。今回はご家族が要介護になって困ったこと1番2番を「ようこさんご家族」のヒスト

ファミリーケア ヒストリー発行の経緯

家族が要介護状態になった時、皆さま、様々な問題・不安を抱えています。デイサービスとしてご支援させていただく中で、介護士の私たちは毎日、様々なご家族なりの葛藤に触れています。今回デイを利用する方々を一つの「ファミリー」として考えまして、家族の介護の歴史を共有できればと思います。発行は不定期です。

転用転載を禁止します。

リーです。2年以上前にお母様が要介護になりました。息子さん娘さんの介護者というご家族です。スタッフの中では、連絡帳コメント王として有名な息子さん、今回、快くこのインタビューを引き受けてくださりました。ありがとうございます。では早速インタビュースタートです！

デイ：今回はありがとうございます。最初にこのような企画を考えましたのは、コロナになり、デイとして様々な危機へ対処する中で、ご利用中の皆様が本当にデイのことを心配してくださっているな。ご利用者様、ご家族さまが、迷惑をかけたくないから、何かあれば事前に休みますよ。なんて声もありましたし、それぞれが責任をもって、デイという小集団を守ろうとしてくださっているな。家族的だな〜と大変感動いたしました。デイを運営せて頂く者として、ここに通うファミリーが強く危機、困難に立ち向かえる、そして安心できる情報をお伝えしなければいけないな。そう思いまして、第一回目をようこさんご家族にお願いすることになりました。



最初のころは イライラ全開！ でした。

息子さま：そうですね！それは光栄です。ゆたかさん（デイをそう呼んでくださっています）から選んでいただいてこちらも嬉しいです。母は近頃、デイを職場と思っていますから「今日も事務所行くよ」と言いますし、「今日は行かないよ」が無くなってきましたね。嬉しいことです。

デイ：そうですね！こちらでもお母様、何かを手伝ってあげるわよ。といった姿勢でいつもスタンバイされていますね。笑 では早速本題の質問です、よろしいでしょうか？

お母様が要介護になった時、何にいちばん困ってましたか？

息子さま：そうですね〜やっぱりいちばんは「何度も同じ言葉を繰り返す」ことですね。何度も何度も「あれはどうした？これはどうなった？」の言葉を繰り返すことです。「さっき言ったでしょ」と、こちらもなりますし、母がどうなってしまうのか心配もありました。本当にイライラしていましたね。

デイ： そうですね。私たちにとっては、皆さん同じ言葉を繰り返しますから、日常的ですが、ご家族にすれば「不安」イライラになりますよね。わかりました。ありがとうございます。では2番目に困ったことは何かございましたか？

息子さま： 2番目は「トイレを汚してしまう」ことです。母はトイレまでは行ってくれますが、トイレを汚してしまうことが多かったです。1日に何度か汚すこともありましてし、仕事で疲れて帰ってきて、トイレを掃除するのは大変でした。とても心身が疲れていました。

デイ： たいへん言いにくいお話、お聞かせていただきましてありがとうございます。そして、現在ですが、この困った1と2はどのような状況でしょうか？お聞かせ願いますか？



母の状況は 変わらないけど…

息子さま： そうですね～今も繰り返し

の言葉は続いています。ですが私自身の対応、心境はずいぶんと変わりました。「繰り返すことは当たり前だ」そう思えるようになりましたし、気持ちもすごく楽になりました。トイレの問題も同様ですが「汚れていて当たり前だな、掃除すればいいや」そう考えるようになりましたね。自分が母の状況を受け入れたということでしょうかね。仕事帰ってきて「おお～今日はキレイだな」よかったな！と思う日もありますよ。介護当初のイライラは和らいでいると思います。

デイ： 息子さんご自身の介護経験と、時間の経過と共にご自身の心境の変化があったということでしょうか？

息子さま： そうなりますかね。母が要介護状態になりまして、職場の先輩に介護のことを相談しました。先輩からデイサービスをすすめられました。実際サービスを利用して見て、自分自身と母の介護をしながらの生活リズムができましたし、気持ちが楽になったと思っています。最初はデイに通えるのかな？サービスの内容も含めて、どうなるのか？わかりませんでしたし、仕事をしながらできるのかな？とかですね。ですが、だんだんと母がペースよくデイにも通うようになって、母の仕事モード（デイに通う）も見えるようになってきて、私たち家族の介護生活、心境も変化してきたのだと思います。

デイ：貴重なお話ありがとうございます。デイの機能をフル活用されて、介護のある生活リズムをだんだんと築かれたのですね。ありがたいご家族さまからの言葉、とっても嬉しいです。また聞くところによりますと、息子さん娘さんで、お母様介護ノートがあると聞きました。お二人とも悩みながら、介護に向き合っておられる姿がとても想像できます。我々介護士もお二人の介護に対する前向きな姿勢をいつも尊敬しています。ようこそさんファミリーのゆかいに元気な介護我々が少しでもお役に立てたことが、私たちの勇気になっております。



息子さま：そうですか。よかったです。私たち家族もデイサービスを頼りにしています。皆さんも元気に頑張ってくださいね。応援していますよ。

デイ：ありがとうございます！頑張ります！

では最後の質問になります。これは逆説的な質問で恐縮ですが、「要介護になってよかった」ことがありますか？という問いです。これは時間の経過と共に要介護も「よかった」と思えることがあるのか？私たち介護を仕事とする者として、今後同じようにご家族が要介護という大変な状況になった時、少しでも介護士としてケアに関わる中で是非役立てたいと考えているからです。大変聞きにくいことで、でも知っておかなくてはと思います。もちろん何も無ければ、回答なしでもかまいません。よろしくお願いします。

息子さま：そういう意味での質問ですね。わかりました、ありますよ。たまに母が「○○○ごめんね～」なんて私に言ってくれることもあるんです。それで私も「生まれた時と逆になったな～ 笑」なんて返します。だから、要介護になったからこそ親子として親密になれたな、また深く関わる時間をもてたな。そう思いますね、それがよかったことかもしれませんよ。

デイ：お一すごく感動の回答いただきました。ありがとうございます。要介護になって大変なこと、苦しいことも繰り返していますが、長い時間をかけて行く中で、またそれも受け入ってプラスにとらえることもできる。私たちも日々のお仕事、普段の生き方の中でご参考になります。本日はありがとうございました。またデイ連絡帳コメントお待ちしております！

息子さま：こちらこそ、母共々お世話になりますね。これからもよろしくお願いします。

あとがき：ようこそさんファミリーさま取材協力大変感謝申し上げます。コロナ禍ではありますが、家族として助け合うこと、あたり前ことでさえ疑問に思うことが私たちの身の周りでも起きています。生きること大切にすることは何か？個人、家族、小集団が考えるタイミングになりました。本当にありがとうございました。

ゆたかなビレッジ 末岡正博